

所在地：	長野県伊那市西箕輪2676-1		
敷地面積：	34147㎡	延床面積：	16916㎡
設立：	1990年6月	従業員数：	150名
ISO14001取得：	1998年12月	ISO14001最新更新：	2010年7月
主要製品：	カーオーディオ製品		
環境コミュニケーション：	10年度		
情報開示：	2件	工場見学：	6名
問合せ：	コーポレート管理部 環境・社会貢献室		TEL: 045-450-2512



地域貢献活動： 10件

ごあいさつ

長野ケンウッドは、親会社である株式会社JVCケンウッドが100%出資する子会社として、本社生産・調達部の傘下で車載用ビジュアル・ナビゲーション製品を中心に生産活動を行うと共に、全世界に展開している関連グループ会社(生産拠点)に対する生産技術支援の一翼を担っています。環境活動の取り組みでは、グループ会社共通の環境ビジョンを掲げ、「グリーン製品」「環境保全」の両面から企業活動を進め、環境負荷の低減に向けたモノづくりを推進しています。又、地元企業で組織する環境保全活動にも積極的に参加し、グループ会社の先陣を切って2002年8月に廃棄物ゼロエミッションを達成しました。今後も、企業に課せられた環境問題に対する社会的責任を認識し、地球環境に配慮したグリーン製品を提供するとともに、持続的な経済の発展と地球の環境保全に積極的に行動して参ります。



環境責任者
松沢 俊明

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	2010年度の成果
省エネルギー推進 CO2排出量を1,517t-CO2※以下とする	CO2排出量 1,419.74t-CO2※(目標に対し106.9%)
事務用紙使用量の管理 管理活動の定着を図る。	管理目標264.7千枚に対し154.4千枚
地域貢献活動 4回以上の実施	10件
リサイクル率の向上 99.7%以上とする	実績99.8%

※ 使用エネルギーのほとんどは電力で、換算値は社内基準係数を使用しています。

製品・環境配慮ポイントの紹介



長野ケンウッドには、欧州の石畳路を再現した悪路走行路(テストコース)が設置されており、車載器の振動によるCDの音とびなどが欧州へ移動しないでも試験ができるようになりました。



自動車メーカーへ軽量化設計商品を提案。また、有害化学物質に対応する為、含有物質を測定する蛍光X線分析装置を導入し、環境負荷低減に貢献しています。

環境パフォーマンスデータ

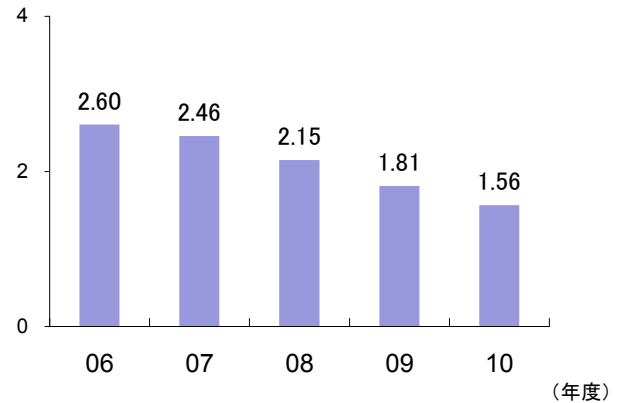
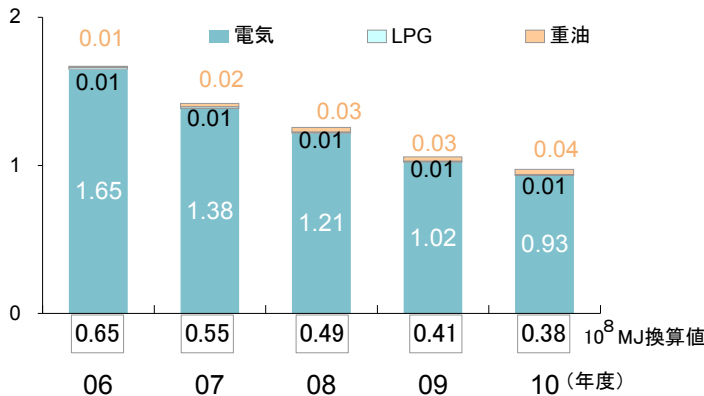
グラフ表示年 2010：2010年4月1日～2011年3月31日

エネルギー使用量

単位：千kl

CO2排出量

単位：千t



算出基準について

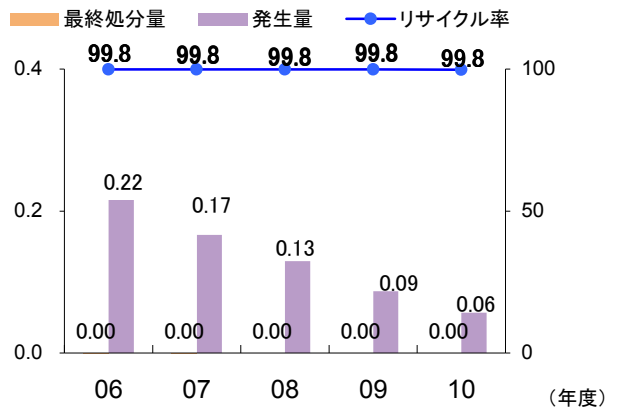
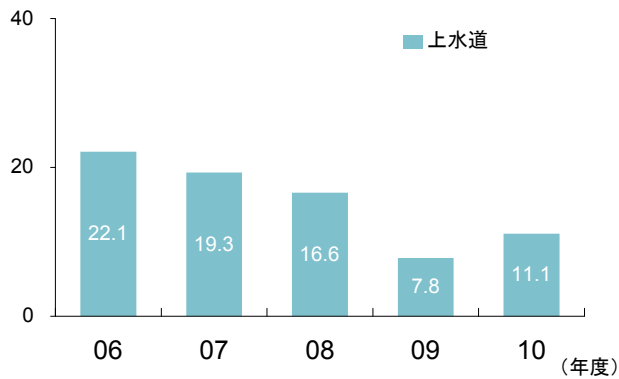
電力のCO2換算値は電気事業連合会の資料に準拠しています。2010年度のCO2換算は0.412kg/kwh(2009年実績値・2010年9月公表値)を使用しました。

水の使用量

単位：千³m

産業廃棄物・有価発生物

単位：千t、%

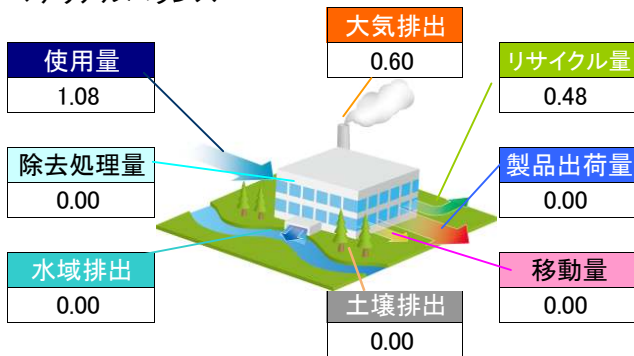


化学物質

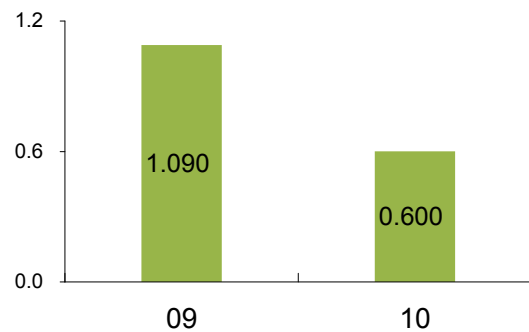
単位：t

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

重点削減物質＝PRTR法、VOC(大気汚染防止法)、GHG(地球温暖化対策法)の中で、環境影響の大きいとされる物質を削減対象として指定しています。(電気・電子業界での使用実績の大きいものなど 約60物質群を指定しています。)

環境法令等の順法状況

10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	ボイラー	9.58	9.10	0.1未満	0.1未満	年1回
NOx	ppm	ボイラー	180.00	171.00	52.00	52.00	年1回
ばいじん	g/Nm3	ボイラー	0.30	0.29	0.005未満	0.005未満	年1回

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A					
BOD	mg/l	合併浄化槽	30.00	19.00以下	9.10	29.00	年4回
窒素	mg/l	N/A					
リン	mg/l	合併浄化槽	6.00	5.70以下	2.48	3.30	年4回

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 社内敷地北端	70.00	69.50	40.00	40.00	新規コンプレッサ導入時
		夜 社内敷地北端	70.00	69.50	40.00	40.00	新規コンプレッサ導入時
振動	dB	昼 社内敷地北端	70.00	69.50	30.00未満	30.00未満	新規コンプレッサ導入時
		夜 社内敷地北端	65.00	64.50	30.00未満	30.00未満	新規コンプレッサ導入時

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	

環境方針

【 環境方針 】

ケンウッドグループは、カーエレクトロニクス・コミュニケーションズ・ホームエレクトロニクスの事業活動、製品開発およびサービスにおいて、環境に与える影響を十分に認識し継続的に改善することにより、地球環境と資源の保全、汚染予防を図り、環境に配慮した企業経営に取り組みます。

1. 地球温暖化防止のために、環境負荷を低減する技術や商品の開発に取り組み、事業活動を含めたライフサイクル視点でのCO2排出量の削減を進めます。
2. 限りある地球資源の有効活用のため、3R活動を中心とした環境配慮設計を進め、循環型社会の実現を目指します。
3. 地球の環境と生物に影響を与える製品含有の化学物質を管理し、継続的な削減と安全物質への代替に努めます。
4. すべての事業活動、製品開発およびサービスが生物多様性に影響するという認識に立ち、総合的な環境負荷の低減に努め、自然環境との調和を目指します。
5. 環境側面に適用する法規制およびその他の同意した要求事項を順守します。
6. 環境保全の啓発として従業員に対して環境教育を行います。

この環境方針は、全社員に周知し、一般の方へも公開します。

2011年5月25日

環境負荷削減の取り組み事例

自動販売機の削減

社内においてあった飲料自動販売機等につき、電気使用量削減を目的として、飲料自販機5台、タバコ自販機1台、給茶機2台を削減し、CO2削減などの環境負荷低減を図ることができました。

廃棄物のゼロエミ継続

02年8月 グループの先陣を切って「ゼロエミッション」を達成し、以降、現在に至るまでゼロエミを維持しています。

全社員による構内清掃活動

毎朝10分間を全社員による清掃時間とし、社屋の全箇所を対象に清掃を実施しております。社員の意識向上を図り、環境負荷低減へ結び付けていきます。

セタライトダウンへの参加

2008年から開始された「セタライトダウン」活動に、長野ケンウッドも参加しました。従業員の家族と共に家庭でのライトダウンを体験しながら、エネルギーの大切さを実感することができました。



環境コミュニケーション事例

リサイクルシステム研究会への参加

環境保全活動としてリサイクルシステム研究会へ参加し、リサイクル・システム・エネルギーの3グループにて活動を行い、リサイクルグループでは、天竜川環境ピクニック(清掃活動)や夏休み親子で水質調査、システムグループでは、INAコピー用紙循環システムの構築、エネルギーグループでは「KIDS自然エネルギー活用コンテスト」の開催などの活動に参加しています。

**天竜川環境ピクニック**

毎年、地元の企業・団体が家族ぐるみのボランティアとして集まり、諏訪湖から飯田地区の天竜川及びその水系で河川ゴミ拾い活動を行っています。2010年度は雨天順延したにもかかわらず、106事業所から3782名参加し、長野ケンウッドからも前年度よりも多い70名が参加し、良い汗を流していました。

伊那インター工業団地清掃活動への参加

伊那インター工業団地内にある15の企業から各3名募集し、毎年、工業団地内の清掃活動(ゴミ拾い)をおこなっています。天竜川同様にゴミはかなり減ってきており、環境への関心が高まっています。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

自然災害や事故等により、敷地外への環境影響を及ぼす可能性を評価し、必要な手順書を作成しています。特に敷地外への拡大は最小限に止めるための体制の構築を行っています。また、定期的訓練を実施し、手順の見直しを行うよう定めています。

緊急事態訓練

長野ケンウッドでは重油タンクや少量危険物倉庫を設置しており、またIPAを用いていることから、それらの緊急事態発生時の対応手順書に従って訓練を実施し、被害拡大防止に役立てると共に、手順に不備が無いことを確認しております。